



(案)

生物多様性ひょうご戦略

2025年 月 (改定)

生物多様性が育む「恵み豊かなふるさとひょうご」を
私たちの手で未来へつなぐ

概要版



兵庫県
Hyogo Prefecture

1 はじめに

兵庫県は、中国山地を中心に形成される起伏に富んだ地形、日本海型から内陸型、瀬戸内型といった多様な気候、加えて、中山間地域と都市域を有し、それぞれの地域ごとに特徴ある自然環境や生態系が形成されています。そこには様々な個性を持った生物が生息・生育し、それらがもたらす多くの恵みが私たちの暮らしを支えてきました。

しかしながら、近年、開発行為、自然に対する人の働きかけの縮小、侵略的外来種の侵入、野生鳥獣の被害、プラスチック汚染、気候変動など、様々な顕在化する環境課題により、生物多様性がこれまでにない危機にさらされています。

兵庫県では、こうした社会情勢や環境課題に適切に対応するとともに、生物多様性を守り、その持続可能な利用に向けて取り組むべき行動指針を「生物多様性ひょうご戦略」としてとりまとめました。

兵庫の豊かな生態系を未来に引き継ぐため、私たち一人ひとりが生物多様性について正しく理解して主体的に行動していけるよう、当戦略に基づき、本県では、県民の皆さんや市町、地域団体、企業、教育・研究機関など多様な主体と緊密に連携して取組を進めます。



豊かな生態系が息づく上山高原とイヌワシ

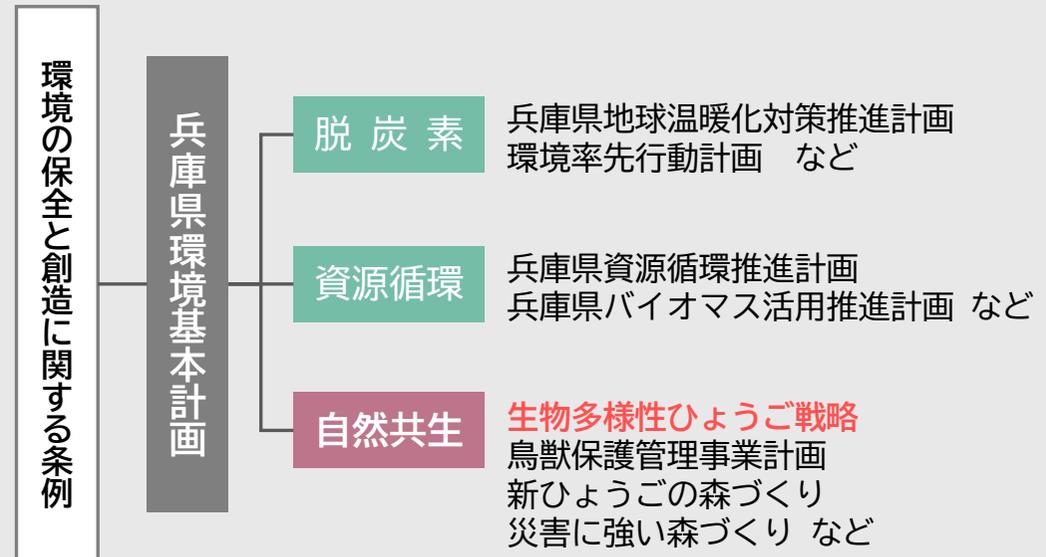
2 戦略の位置づけ

- 生物多様性基本法第13条の規定に基づく、兵庫県内における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する地域戦略
- 兵庫県環境基本計画における自然共生分野の具体化を図る行動指針
- ひょうごビジョン2050におけるめざす姿「生命の持続を先導する社会」の実現に向けた個別計画

3 戦略の期間

2025年度から2030年度までの6年間

(参考) 兵庫県環境基本計画と生物多様性ひょうご戦略との関係



4 生物多様性を育む兵庫の豊かな自然環境

地 形

- 中央部に東西に連なる中国山地が存在
- この山地を挟み、
 - ・ 北側は日本海に面し、山地傾斜面が広がる日本海沿岸域
 - ・ 南側は瀬戸内海と太平洋に面し、広い平野部を持つ瀬戸内海沿岸域
- 淡路島は、周囲を断層に区切られた断層地塊山地

気 候

- 日本海側は、対馬暖流と冬の北西の季節風の影響で湿った空気が流れ込み、冬期は積雪が顕著
- 内陸部は、寒暖の差が大きく、霧などがみられる
- 瀬戸内海沿岸地域は、雨量が少なく温暖な気候

森 林

- 本県の森林面積は560千ha、県土面積に占める割合は67%
- 民有林は森林面積の95%を占める
- 民有林は人工林と天然林に分けられ、やや天然林が人工林を上回る
- 人工林の主な種はスギ、ヒノキ、マツ

河川・氷上回廊・ため池

- 一級河川が5水系、二級河川が92水系
- 多くの水系が多様な生き物や地域の風土・文化を育む母体となっている
- 日本海に注ぐ由良川と瀬戸内海へ流れる加古川をつなぐ低地帯は「氷上回廊」と呼ばれ、多くの生き物の南北の移動経路
- 県内のため池数は約2万2千箇所全国1位

海 岸

- 日本海沿岸域は、海食崖、洞窟、洞門など狭い地域に集中した海食地形
- 瀬戸内海沿岸域は干満の差が大きく、干潟が形成されやすい特徴



氷ノ山
(養父市)



播磨平野



六甲山



諭鶴羽山地
(南あわじ市)



奥神鍋スキー場
(豊岡市)



黒井城跡からの雲海
(丹波市)



適正管理された森林
(宍粟市)



円山川
(豊岡市)



天満大池
(稲美町)



中央分水界
(丹波市)



香住海岸
(香美町)



新舞子浜
(たつの市)

5 生物多様性とは

私たちが暮らす兵庫県には、森林、里地里山、草原、湿地、ため池、河川、海、干潟など、多種多様な自然があり、そこには色々な形や色、大きさ、個性を持つ生き物が住んでいます。こうした多様な自然環境の中で、それぞれの生き物が他の生き物との間に関わりを持っている状態を「**生物多様性**」といいます。また、生物多様性は「**生態系**」「**種**」「**遺伝子**」の3つのレベルで捉えることができます。

生態系の多様性

多種多様な形態の自然環境



六甲山の森や池

種の多様性

多種多様な種類の生き物



ツリガネニンジン（新温泉町） シュレーゲルアオガエル（たつの市）

遺伝子の多様性

同じ種でも異なる遺伝子



個体によって模様が違うアサリ

6 生物多様性がもたらす恵み

私たちは、普段の暮らしの中で気づかないうちに、生物多様性から数え切れないほど多くの恵みを受けています。これらの恵みは「**生態系サービス**」と呼ばれ、**4つの働き**で構成されています。

生態系サービス

供給サービス

私たちの生活に欠かせない食料や水、農林水産物など直接得られる恵みのほか、植物成分を原料に得られる医薬品など重要な資源を供給する働き

調整サービス

豊かな森や河川は水害や土砂災害を防止・軽減、また天敵がいることで害虫の異常発生を抑えるなど、私たちの暮らしの安全性を提供する働き

文化的サービス

多彩な自然や風景は私たちに安らぎや潤い、レクリエーションなどの楽しみを提供し、文化や精神面での豊かさをもたらす働き

基盤サービス

植物の光合成による酸素の生成、微生物による土壌形成、窒素・りんなどの栄養塩類の循環や水の循環など、3つのサービスの継続的な提供を支える働き

生物多様性による恵みが私たちの命と暮らしを支える



生物多様性による恵みが「**ひょうご五国**」を形成

顕在化している主な環境課題

第1の危機

開発など人間の活動による危機

- 貴重な動植物や生息・生育地の減少
- 瀬戸内海の沿岸域環境の変化



生息環境の変化により1971年に一度野生絶滅したコウノトリ

第2の危機

自然に対する働きかけの縮小による危機

- 野生鳥獣被害の深刻化
- 森林・里地里山などの多面的機能低下のおそれ
- 生物多様性保全に関わる人材の不足



放置竹林の拡大により生態系への悪影響や土砂災害の危険が懸念

第3の危機

人間の活動によって持ち込まれたものによる危機

- 侵略的な外来生物の侵入
- 化学物質による生態系の攪乱



農作物被害や在来生物の捕食により生態系に影響を及ぼすアライグマ

第4の危機

気候変動など地球環境の変化による危機

- 気候変動による動植物の絶滅リスクの増大及び海洋への悪影響
- 風水害の増大



気候変動により冷温帯林であるブナ林の生息適地の縮小が懸念

理念:生物多様性が育む「恵み豊かなふるさとひょうご」を私たちの手で未来へつなぐ

生物多様性を取り巻く **4つの危機** に対応し、戦略の理念実現に向けて、**3つの基本戦略**と**9つの行動目標**を設定し、各種施策を進めます

基本戦略

I

豊かな自然環境の
適切な保全

《行動目標》

1 30by30の推進

- ・地域に根ざした生態系の保全活動の推進
- ・希少野生動植物の生息・生育環境の保全

2 侵略的外来種の防除

- ・特定外来生物の早期発見・早期防除
- ・侵略的外来種に対する適切な対応

3 野生鳥獣の適正な保護管理

- ・野生鳥獣の被害防止総合対策の推進
- ・人と野生動物との共存の推進

基本戦略

II

自然の恵みを
活かした
地域づくり

《行動目標》

1 里山・里海の再生

- ・里山の再生
- ・里海の再生

2 生態系を活かした防災・減災

- ・災害に強い森づくり
- ・人と自然が共生するため池・川づくり
- ・都市緑化の推進

3 生物多様性に配慮した農林水産業の推進

- ・環境創造型農業の推進
- ・資源循環型林業の構築
- ・持続的な水産業の実現

基本戦略

III

豊かな自然を未来へ
つなぐ仕組み
づくり

《行動目標》

1 生物多様性の理解促進

- ・生物多様性への配慮行動の促進
- ・身近な自然とふれあう機会の充実
- ・地域における学びの機会の提供

2 生物多様性を支える人材育成の推進

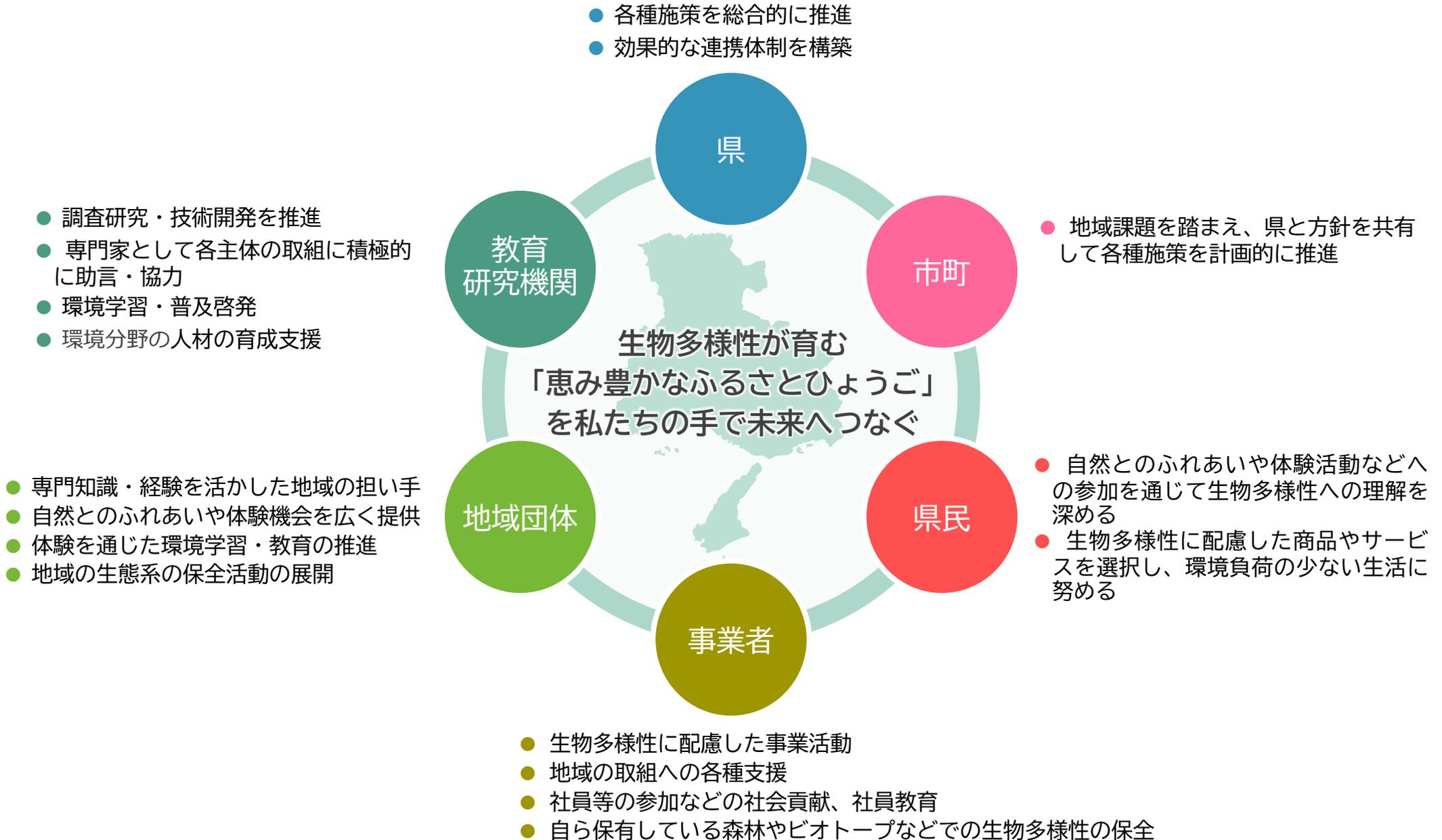
- ・学校における環境学習・教育の推進
- ・環境創造を担うユース世代の育成
- ・環境リーダー・専門分野の担い手育成

3 多様な主体が支える基盤の充実

- ・開発行為における生物多様性への配慮
- ・市町や企業などにおける生物多様性の取組促進
- ・知見・技術の集積及び情報発信

9 戦略の効果的推進に向けて

生物多様性の保全及び持続可能な利用を進めるには、県、市町、県民、事業者、地域団体、教育・研究機関など、**多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、相互に緊密に連携・協働して取り組む**ことが必要です。





兵庫県環境部自然鳥獣共生課
<https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp>



〒657-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL : 078-362-3274 FAX : 078-362-3069
E-mail : shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp